



設立20周年 記念号

会長あいさつ

設立20周年を迎えて

山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会) 会長 水上 由美子



当会は、平成13年3月に山形県国民健康保険団体連合会の御支援、御指導を頂き、山形県在宅保健活動者の会として発足し、今年度で20年目を迎えることができました。会員の皆様とともに、これまで活動を支えていただきました関係機関、関係者の皆様にご心より御礼申し上げます。

いつわ会の名前の由来は、5つの職種の輪、すなわち保健師、助産師、(准)看護師、(管理)栄養士、歯科衛生士の方々の相互の協力で、市町村をサポートしていくことが必要で、それぞれの活動技術の特徴を活かしながら親睦を図るという目的があったと伺いました。

発足当初から、健康づくり事業や介護予防事業に取り組んでまいりましたが、現在ではさらに活動の領域を広げ、特定健診・特定保健指導受診率等向上対策事業への協力や、各種イベントでの救護などの活動も、市町村からの要望が多い活動です。

さて、令和2年は、新型コロナウイルス感染症により、様々な事業やイベントが中止になり、私達の生活も大きな影響を受けることになりました。また、大きな自然災害が毎年のように全国各地で起き、甚大な被害が出ています。今後、いつわ会の活動に求められるのは、どの様な事なのか、研鑽を重ね、役立つ活動を模索していきたいと考えています。

今後も、先輩諸姉の地域保健に対する熱い想いを受け継ぎ、社会の情勢を受け止めながら活動を継続し、さらに会員の皆様との交流を深めてまいりたいと思います。

最後に、記念号発行にあたり、ご寄稿くださいました皆様にご心から感謝と御礼を申し上げます。

「いつわ会」設立20周年に寄せて

山形県国民健康保険団体連合会 常務理事 佐藤 友弘



山形県在宅保健活動者連絡協議会「いつわ会」が設立20周年を迎えられたことに心からお祝い申し上げます。

「いつわ会」会員の皆様には日ごろから本会及び市町村の保健事業、介護予防事業、地域住民の健康づくりに御尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。また、これまで「いつわ会」の運営にあたられてこられた役員、会員の皆様に敬意を表するものです。

さて、御案内のとおり国においては医療費適正化対策、健康寿命延伸等に向けて様々な施策が行われています。医療保険者への「保険者努力支援制度」や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み」等、多岐にわたっています。その中において本会においても国保法の改正により「保健事業に係る市町村間の連絡調整」「専門的な技術又は知識を有する者の派遣」「各種情報提供及び保健事業の分析・評価」等の市町村への援助を行うことが求められています。

本会としましては、専門的な知識、マンパワーにつきましてはこれまで以上に「いつわ会」の皆様のお力をお借りしなければと考えておりますし、会員の皆様におかれては、これまでも技術や知識の向上を目指した研修会など積極的に取り組まれていると承知しています。

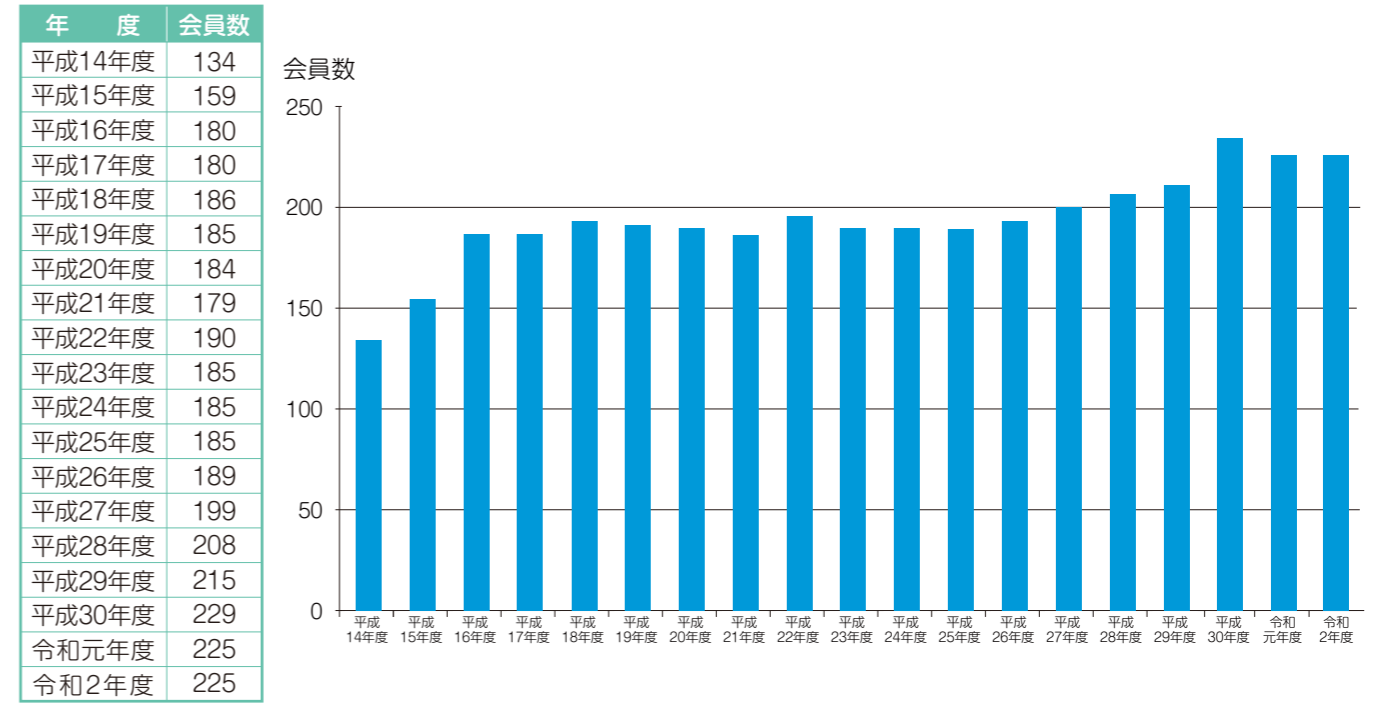
今後も「いつわ会」会員の皆様に適宜情報提供などを行いながら、連携しつつ市町村保健事業等を支援してまいりたいと考えておりますので、引き続き御協力をお願い申し上げます。

結びに、「いつわ会」が20周年を機に益々発展されますよう、併せて会員各位の今後益々の御活躍と御健勝を祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

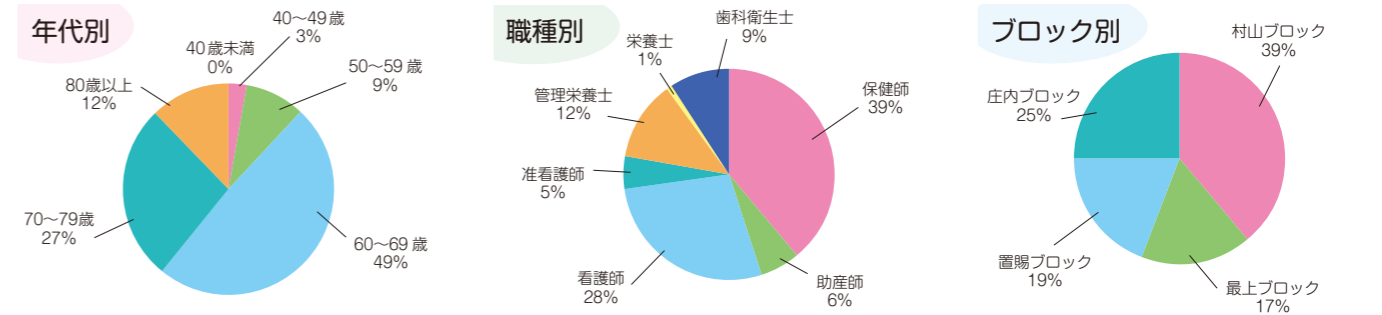
いつわ会について

山形県在宅保健活動者連絡協議会「いつわ会」は、保健師、助産師、看護師・准看護師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士の五つの職種がそれぞれの能力を活かしながら、市町村の保健事業を支援することを目的に平成13年3月に設立されました。初代会長に坪沼怜子氏が就任し、会員85名でスタートしました。全国では40都府県に設置されており会員数は3,707名。そのうち山形県の会員は229名(令和元年9月現在)であり、全国第1位の会員数となっております。

いつわ会会員数の推移



会員割合 (令和2年4月現在)



歴代いつわ会役員 (平成23年度以降)

	平成23・24年度	平成25・26年度	平成27・28年度	平成29・30年度	令和元・2年度	
会 長	奈良崎 泰子	高 山 喜志子	高 山 喜志子	水 上 由美子	水 上 由美子	
副 会 長	榎 本 由紀子	安 達 寿子	安 達 寿子	佐 藤 節子	鈴 木 式子	
常 任 幹 事	水 上 由美子	山 田 孝子	山 田 孝子	山 田 孝子	山田 孝子(〜1) 白田 裕子(2〜)	
幹 事	村山地区	奈良崎 泰子 菊 地 キヨ子 安 達 寿子	安 達 寿子 松 田 悦子 白 石 和子	安 達 寿子 松 田 悦子 尾 形 美恵子	水 上 由美子 井 上 とし子 尾 形 美恵子	水 上 由美子 井 上 とし子 武 田 孝子
	庄内地区	榎 本 康代 小 川 豊 美	岡 部 久美子 奥 村 秋	岡 部 久美子 奥 村 秋	真 島 充子 瀬 尾 千代子	五十嵐 利 恵 佐 藤 千鶴子
	置賜地区	高 山 喜志子 渡 部 京子	高 山 喜志子 渡 部 京子	高 山 喜志子 渡 部 京子	菅 井 昌子 鈴 木 式子	今 野 さゆり 鈴 木 式子
	最上地区	加 藤 富美子	佐 藤 静子 田 中 裕子	渡 辺 幸子 奥 山 裕子	佐 藤 節子 沼 澤 富美子	齊 藤 愛子 阿 部 千句美
助産師	松 田 悦子					
栄養士	榎 本 由紀子	高 橋 みくさ	高 橋 みくさ	小 山 三耶子	小山三耶子(〜1) 竹田俊子(2〜)	
歯科衛生士	松 下 悦子	色 摩 和子	色 摩 和子	色 摩 和子	飯 田 陽子	

会員からのメッセージ

(寄稿は令和2年3月)

期待すること

保健師 高山 喜志子

いつわ会20周年おめでとうございます。職能各位の先輩諸姉のご努力と県内各市町村国保担当者からのご理解ご支援を続けていただいたのも、会員の熱意あればこそです。新型コロナで「新しい生活」を始めています。国保発祥の地としての山形は、更なる制度の充実と私達保健活動者の支援をとおして、世界一の長寿国というだけでなく、高齢者はもっと長生きしたい社会、若者は十分に能力を発揮できる社会を目指し新しい生活から生みだせたらと念じております。

保健師 石原 絃子

現場から離れて早十数年。研修の場に行くと、働いていた頃の少しばかりの情熱(?)やワクワク感と似た感情を覚えます。さびてきた頭がほんの少しリフレッシュし、専門職の喜びを思い出させてくれるいい機会になっています。5つの輪が仲良く続くことをお祈りしています。

いつわ会の研修から学んで

匿名

入会して3年目。家族の健康管理や親の介護をしながら、週に1回障がい者施設の看護として協力させていただいております。保健、医療、介護の情報は、新聞やテレビからでは限られた内容で物足りなさを感じていました。いつわ会の研修に参加してから、地域の最新情報、特にレポートからの医療情報が入り毎回有難く拝聴しています。地域の実態を知ることは、町民・市民に接するうえで大切な事と痛感しています。今後共よろしくお祈りいたします。

助産師 佐藤 和美

どんどん変化していく社会、保健環境を仲間の皆様と一緒に学ばせてもらっています。また、自分自身のための楽しい研修もあります。これからもよろしくお祈りいたします。

いつわ会に寄せて

歯科衛生士 菅井 昌子

子育てのため仕事を辞め、家庭に入ったことでいつわ会の皆さんと縁を結ぶ事ができました。専門職として培ってきた豊富な知識と、濃厚な人柄に何時も背中を押されていたように思います。昨今では「人生100年」と言われていますが、「笑顔で楽しく過ごせる人生」のために、これからも家庭の中の役割だけでなく、社会との関わりを持ち続け、また、いつわ会の皆さんと生涯研修していきたいと思っております。これからもよろしくお祈り致します。

いつわ会20周年を迎えて未来へ伝えること

保健師 渡部 京子

いつわ会20周年記念お祝い申し上げます。諸先輩の皆様が、20年前に会の発足と活動を継続してくださったことに会員の一人として感謝いたします。2020年の今年には東京オリンピック開催の年にあたり新型コロナウイルスの世界規模の流行により、開催が危ぶまれる最中です。日本は10年に一度の割合で新興感染症を経験しているとのこと。前回のSARSの時は3か月延ばして海外旅行できました。私達のライフスタイルを改めて「豊かさ」とはを未来に伝える事を暮らしの中に活かしていきたいです。

コロナウイルスと発症対策から見えてきたこと

匿名

今年の2月、久しぶりに花粉症の咳が出てアレルギーを抑える薬が処方されました。まもなくコロナウイルスのニュースが大きくなり軽い咳でも外出しづらくなり、運動ジムを休んだり静かに生活していました。マスクの賑やかなこと、解説者の様々なこと、国の対応の疑問などテレビをみていただけでも混乱してしまうでしょう国民は、と考えてしまいました。災害時の基本的な対応をやさしく皆に伝えることが最も大切なあと考えています。

骨折して思うこと

保健師 大竹 美喜

白内障の手術が決まり、体力維持のためウォーキングを始めたら、3日目に転倒。受診したら骨折との診断、ギプスを装着しています。そういえば、昨年も旅行中に転倒したことを思い出した。昨年はいつわ会の全体会にも、ブロック研修会にも参加しなかった。「ヒモトレ講座」が行われていた。参加すれば転倒予防できていたかと反省した。

今年は、ぜひ参加できるようにしたい。白内障の手術は順調に行きました。

いつわ会に入会して

看護師 高橋 松子

今年の冬は今までにない暖冬。今世界中で異常事態発生に驚いております。いつわ会設立20周年おめでとうございます。入会して早17年。アンケートの中から講話、学習会、実習、健康体操等々多くの事を学ぶことができ、楽しい一時を過ごすことができました。先輩達の活動は地域貢献に多いに役立てられており、私も微力ながら見習っていこうと思っております。「女性力こそ地域に花開く」をモットーに今後も皆様方の御活躍をお祈りいたします。

匿名

3月に入ると新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため各種イベントが中止になり、介護施設でも面会訪問の自粛が始まったが、デイサービスでは体温測定、消毒を強化しながら通常業務を行っている。利用者の口腔ケアに関わっている私は、口腔掃除や口の体操を行っている。口を動かすときはマスクを外し、実際に一諸に動かす様にしているがこのご時世やはりマスクは必需品。指示がうまく伝わらない方に改めて大変な職種かな…なんて思うこの頃です。

保健師 武田 孝子

私は月1回町内の公民館で開催している「いきいきサロン」のボランティアとしてお手伝いをしています。当日は、血圧測定と健康チェック、軽体操やゲームを交えて健康講話。専門職として資格を活かせる喜びを感じながら、参加者の笑顔を励みに私自身も元気をもらっているのです。五つの職種、五つの輪「いつわ会」の仲間たちと楽しく学んだ情報や最新の知識を取り入れながら、これからも地域の健康づくりや介護予防に役立てていけたらと思っています。

昭和・平成・令和の自分の近況

栄養士 原田 利子

カルチャーセンターの講師を約35年。月～木曜日の5日間、受講生は老若男女で、受講して数か月から4～5年、10年と様々です。基本的な家庭料理(和洋中菓子、郷土料理等)を楽しみながら授業しています。また、栄養ケアステーションや地域活動は約21年目になります。月2回の木曜日24～25人を対象に講話や料理を通して生活習慣病を減らし、健康の重要性を評価、実践家族の日々の生活が健康に過ごせることに繋がり、地域での活躍が、地域の方々に良い機会をあたえていると自負しています。20周年おめでとう!

会員からのメッセージ

退職して10年

保健師 佐藤 由美

退職と同時にいつわ会に入会させていただきましたが、親たちの介護や日々の生活に追われ、事業への参加や協力もできずに過ぎてしまいました。そんな中でもブロック研修会は参加しやすく私にとって新しい情報を学び、交流を図る貴重な機会でした。9年続いた介護生活も終わり間もなく1年。今は、介護中に始めた週一回の自然運動を継続しリフレッシュを図っています。これからは趣味や旅行などを楽しみながら心に余裕をもって過ごしたいなと思います。

20周年目の感謝

管理栄養士 小林 恵美

いつわ会20周年おめでとうございます!!
いつ頃からか?自分の履歴書を書く為に?自分史のようなものをノートに記しています。若輩者のちっぽけな歳月ですが振り返ってみると面白く、20年前は子育て真っ最中。近くで開催される研修会はとても有難く、楽しみに学ばせていただいたいつわ会の研修会の数々。

時の移り変りと共に保健活動も多様化する中、会員のニーズに応え、リードして下さる事務局や歴代役員の方々に深く感謝を申し上げます。

丈夫で長生きは 若いときからの習慣が何より

保健師 柿崎 節

現職の時、現在すすめている“丈夫で長生き”健康寿命の延伸を本格的に、国はじめ、市町村、町内会単位で輪が広がっています。マンパワー不足の介護問題、人のお世話にならないで自分のことは自分でやっていくことの若い時からの考え方をしっかりと持って行く。前期高齢、後期高齢という言葉にも抵抗がありましたが、通過してみると大きく違いがあるし、80歳を迎える身になると運動習慣も役に立っているし、趣味での交流に役に立っています。

いつわ会に入会、そして今

看護師 沼澤 芳子

いつわ会20周年おめでとうございます。私は、看護師の資格は持っていても子育て中で家庭に入っていたこともあってお声がかかり、初期から入会させていただいておりました。早いもので20周年になるのですね。仕事を始め、退会を申し出たこともありましたがそのままになってしまいました。その私も定年間近となり、定年後は今の仕事を継続しようか迷っておりますが、いずれは介護予防を中心に活躍できたらよいなあと考えております。近況まで。

歯科衛生士 色摩 和子

いつわ会の会員になり他職種の方々と交流の幅が広がりました。私達歯科衛生士はこの5つの医療資格の中でも、少し肩身の狭い気がしていましたが会員の皆様との交流の中で少しずつ自信が持てるようになり、一段と勉強していく気持ちもでてきました。地域ケア会議にも助言者としてのポジションもでてきて、これから益々勉学に励み力をつけて他職種の方々と共に地域保健活動に役だっていきたいと思っております。

今思うこと

管理栄養士 若林 節子

20周年記念おめでとうございます。
振り返ってみるといつわ会に入会させていただき、色々の人たちとの出逢いがあり、話し合い学ばせていただきました。その時の人との出逢いに感動し、感謝の気持ちで一杯です。今、趣味の1つとして詩吟をおこなっております。これからは、心身共に健康長寿を目指して、楽しく、前向きに、皆様のお力を頂きながら励みたいと思っております。よろしくお願い致します。いつわ会の発展をお祈り申し上げます。

いつわ会20周年に寄せて

匿名

いつわ会20周年おめでとうございます。
いつわ会の会員になって3年目です。病院外来業務や子育て支援事業、健診業務等日々退屈することなく過ごしております。これからもいつわ会の研修等に参加させていただき、地域住民の方々のお役に立てるよう活動していけたらと思います。いつわ会の益々の発展をご祈念申し上げます。

いつわ会20周年 おめでとうございます。

保健師 佐藤 節子

東北県の多くは保健師のみの団体のようですが、山形県は5つの職種が会員となり、心ひとつに目標に向かう結成当時の先見性に大きな拍手をおくります。退職しても各方面からの最新の知識等を得ることができ、会員との再会や交流の場ともなっています。ひとえに、国保連合会様の多大なる御支援と御指導の賜と心から感謝申し上げます。今後はこんなに素晴らしい会に、もっと多くのおみなさんから入会してほしいなと思っています。



押花の作品

みんなの食堂

匿名

今楽しく活動しているのは「みんなの食堂」で多世代交流を目指し、コープ集会室を会場に月1回開催しています。調理は午後3時から、6時からは参加者と一緒に食事となります。親子、単身の方様々です。おしゃべりしながら小さい子も「この野菜美味しい!」「筍ごはんお代わり!」と食べてくれるのが何よりスタッフの励みになります。今後もつながりを大事に健康に注意し、がんばっていききたいと思う。

いつまでも資格を活かせる喜び

保健師 荒井 幸子

いつわ会が20周年を迎えられお喜び申し上げます。県の保健師を退職して22年が経ちました。退職後すぐ訪問看護ステーションでケアマネを兼務しながら8年間勤務し、その後もいきいきサロンや認知症カフェのボランティアを続けています。いつわ会は、退職後の活動の場や新知識の修得、懐かしい方々との交流の場としてかけがえのない会となっています。いつまでも看護の資格を活かせる幸せに感謝しています。

保健師 小林 佐枝子

現役を退いて数年、いつわ会は保健福祉の現状や新しい知識を学ぶための貴重な場になっております。また、同じ時代に共に仕事を頑張ってきた仲間達に会える場にもなっています。今年度のブロック研修の折も、30数年前に介護の健康教育でお世話になった方にお会いすることができ、なつかしい話に花が咲き楽しい時間を過ごすことができました。いつわ会は私にとって楽しい場になっております。

写真でふりかえる10年間(平成23年度～)

全体研修会

平成23年度

<10周年記念講演>

講演1 「笑いをとおして心も体も健康に
～ラフターヨガの紹介と体験～」

講演2 「誰もが、地域で、ともに暮らす
～富山型デイサービスの日々～」



平成24年度

講演 「最近の山形県の保健、医療の話
～在宅保健活動者の役割～」

ワークショップ

「あなたは、今、何色ですか?～色は心のメッセージ～」



平成25年度

講演 「山形県の最近の健康課題について
～健康やまがた安心プラン、感染症、放射線など～」

体験学習

「ココロが和む!カラダが弾む!サロンにも
活かせる ハッピーコミュニケーション術」

平成26年度

実技 「今日からはじめるロコトレ!!
～花の山形!しゃんしゃん体操(第2)の習得～」

講義と演習 「脳がイキイキ!サロンにも活かせる回想法」



平成27年度

講義 「認知症サポーター養成講座」のプログラム

講義と実技 「簡単!安全!効果的!
サロンにも活かせるロコトレ」



平成28年度

第56回全国国保地域医療学会参加(山形市)
メインテーマ
「地域包括医療ケア」を地域づくりの礎に



平成29年度

講演 「近年よくみられる子どもの行動異常について
～小児科医から子どもに関わるひとたちへの
お願い～」

講義 「母子保健施策の動向」

講義と実技 「運動と栄養でフレイルの予防!」

平成30年度

講演 「心と身体を笑顔にするアンガーマネジメント
～毎日のイライラの対処法～」

実技 「音楽を使って楽しく健康づくりを」



令和元年度

講演 「笑いと健康～笑って生活習慣病・認知症予防～」

講義と実技

「誤嚥性肺炎・低栄養予防のための口腔ケア」

情報提供 「国保保健事業をとりまく最新の動向」



ブロック研修

平成23年度

置賜ブロック 体験発表と話し合い



平成24年度

庄内ブロック

講演と実習 「糖尿病の食事療法とヘルシークッキング」



平成25年度

村山ブロック

講義と実技 「元氣と長生きは健口から
～摂食・嚥下のための口腔ケア～」



平成26年度

最上ブロック 実技「花の山形しゃんしゃん体操」



平成27年度

庄内ブロック

車座(くるまざ)トーク

「地域で見守り支える認知症の現状と課題」



平成28年度

村山ブロック

講義と実技 「これであなともおしゃれシニア!
～いつまでも素敵に美しく～」



平成29年度

置賜ブロック 「災害時における非常食の作り方」



平成30年度

置賜ブロック

講義と実習 「はじめてのアロマテラピー体験」



令和元年度

最上ブロック

実技 「誰にでもできる健康体操
～脳トレ・筋トレ・ストレッチ～」



支援事業等

平成23年度



救護



高齢者サロン

平成24年度



特定健診・特定保健指導受診率向上事業説明会

平成25年度



救護スキルアップ研修



尾花沢市健康まつり

平成26年度



ピンクリボンフェスタに参加

平成27年度



イベントでの健康相談、ハンドマッサージ

平成29年度



特定健診・特定保健指導電話勧奨



東北地方在宅保健師等連絡会議（山形市）
情報交換会

令和元年度「いつわ会会員活動アンケート」集計結果
(抜粋)

調査期間／令和2年2月から3月 配布数／230 回答数／153 回収率／66.5%

1 令和元年度に行った保健活動内容(複数回答)

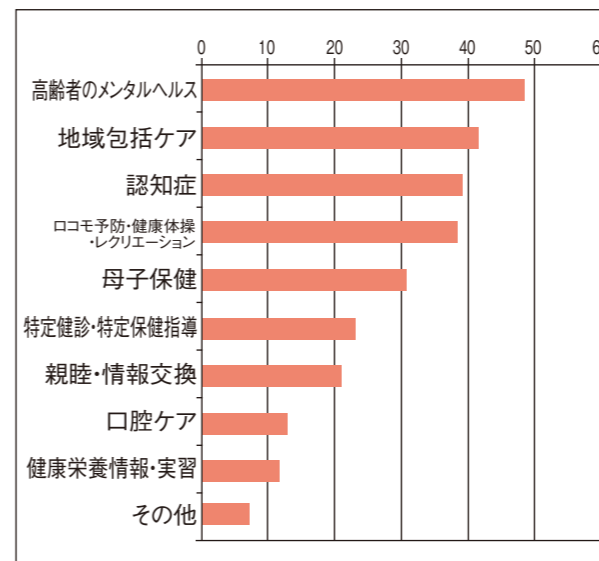
市町村保健事業関係 2,655回/年 83人

- 1位 乳幼児健診・母子歯科事業など(41人)
- 2位 介護保険関係[予防・調査・認定審査](26人)
- 2位 特定健診・特定保健指導(26人)
- その他 健康相談、栄養相談

その他(地域・施設) 2,373回/年 94人

- 1位 地域での支援・ボランティア(62人)
- 2位 施設での支援・ボランティア(34人)
- 3位 各種地域の委員(29人)
- その他 事業所での保健指導、避難者支援

2 全体研修会の希望内容について(複数回答)



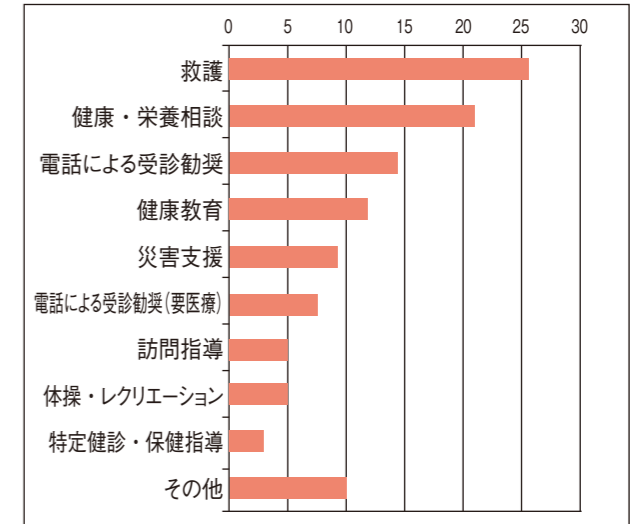
「高齢者のメンタルヘルス」の希望が一番多く、次に「地域包括ケア」、「認知症」「ロコモ予防等」と続いています。

3 市町村等へ支援協力について

153名のうち、支援協力できる59名

- 1位 救護 (26人)
- 2位 健康・栄養相談 (21人)
- 3位 電話による受診勧奨(14人)

支援協力できると答えた59名の項目内訳(複数回答)のグラフです。



事務局からのお知らせ

市町村保健事業担当者の皆さんへ!

いつわ会では、健康・栄養相談、訪問指導、その他の保健事業に保健活動者を派遣しています。健康イベント等の際の健康相談、救護等に依頼してみませんか?

会員の皆様へ!

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、いつわ会の全体研修会及びブロック研修会は中止とさせていただきます。また、毎年ご案内しております、山形県国保地域医療学会(第64回)は、来年度に延期することになりました。今後の開催については、感染状況等を踏まえながら検討してまいります。

令和元年度いつわ会事業

事業名	日時	内容
役員会	平成31年4月22日、令和元年6月4日、 令和2年1月27日	3回開催
いつわ会全体研修会	令和元年7月2日 (山形市山交ビル 69名参加)	・講演「笑い与健康～笑って生活習慣病・認知症予防～」 ・講義と実技「誤嚥性肺炎・低栄養予防のための口腔ケア」 ・情報提供「国保保健事業をとりまく最新の動向」
庄内地区ブロック研修会	令和元年10月2日 (鶴岡市総合保健福祉センター 21名参加)	・講演「だ液によるがんリスク検査の研究・開発」「レセプトから見た庄内地域高齢者の骨折の状況について」 ・実技「椅子に座って簡単エクササイズ」・情報交換
最上地区ブロック研修会	令和元年10月17日 (最上広域交流センター 18名参加)	・講演「最上地方における糖尿病療養支援」「最上地域の生活習慣病関連データの特徴について」 ・実技「脳トレ・筋トレ・ストレッチ」
置賜地区ブロック研修会	令和元年11月6日 (アクティ米沢 20名参加)	・講演「在宅での看取りを考える」 ・実技「ヒモトレ講座」
村山地区ブロック研修会	令和元年11月12日 (東根市さくらんぼタクトルセンター 19名参加)	・講演「緩和ケアについて」 ・実技「いつまでも若々しい頭と体のために」
東北地方在宅保健師等会連絡会議 会報発行	令和元年12月5～6日(仙台市) 令和元年8月、令和2年3月	山形県より4名参加 研修会報告、ブロック研修会報告等
特定健診・特定保健指導 受診率等向上対策事業協力	令和元年6月～令和2年1月	県内17保険者に19名協力、電話による健診申込・受診勧奨と未受診理由の聞き取り、保健指導利用勧奨6,590件
健康相談協力	令和2年1月～3月(3月は開催中止)	通所型サービスA事業に係る健康相談(延べ14名協力)
南陽市高齢者サロン事業協力	平成31年4月～令和2年3月	健康講話・血圧測定・健康相談(延べ8名協力)
救護	令和元年6月～令和2年3月 (3月は開催中止)	運動・スポーツ大会、健康イベントの救護・応急処置(延べ28名協力)

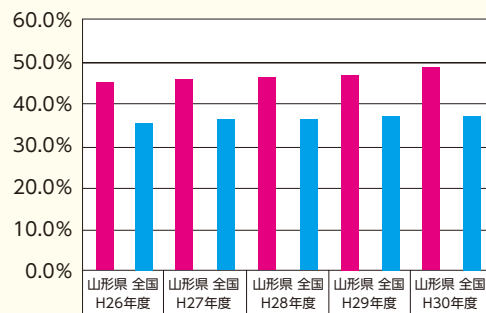
令和2年度特定健診・特定保健指導受診率等向上対策事業

国保連合会は、令和2年度県内の5保険者(米沢市、東根市、西川町、朝日町、遊佐町)と協力し、特定健診受診率を向上させるための電話による支援事業を行っております。いつわ会会員がこの事業に協力し、市町村役場庁舎等で電話勧奨を行い、本人や家族に受診の大切さを訴えております。

これまでの地道な取り組みにより、平成30年度の山形県市町村国保保険者にかかる特定健診受診率は48.7%で全国1位となっております。しかし、国の目標である60%には至っていないことから、今後も引き続き取り組みが必要です。

年度別市町村国保の特定健診受診率

H26年度	山形県(全国2位)	44.7%
	全国	35.4%
H27年度	山形県(全国2位)	46.0%
	全国	36.3%
H28年度	山形県(全国2位)	46.5%
	全国	36.6%
H29年度	山形県(全国2位)	47.0%
	全国	37.2%
H30年度	山形県(全国1位)	48.7%
	全国	37.2%



20周年記念号発刊によせて

編集にあたり、会員、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。これからもいつわ会は会員の相互理解を深め、市町村支援に取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導ご協力をよろしくお願いいたします。また、随時会員を募集しておりますので事務局までご連絡願います。

事務局

〒991-0041
寒河江市大字寒河江字久保6番地
国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会
事業課保健事業係
TEL0237-87-8002 FAX0237-83-3353

印刷 コロニー印刷

注：表紙／山形の四季